

きこえた順に ゆびさし（先生の一にち日）

（ ）組 なまえ_____

領域・形態・時間	聞くこと ペア（1まいのシートを2人で） 15分
ねらい	まとまった話（先生の一 にち 日）を聞いて、聞こえた日課のカードを順にタッチする。 「全部わからなくても、聞こえたところをつかまえる」聞き方を育てる。

やり方 この流れでやってみよう

1 Put the sheet between you.

シートをペアのまなかん中なかにおく

2 Listen to the story.

先生せんせいの「一にち日のお話はなし」をきく（1回目は手をおひざで、きくだけ）

3 Second time: touch what you hear!

2回目は、きこえた日課の絵をじゅんばえんにタッチ

4 Check: what was first?

こたえあわせ（最初さいしよは？ つぎは？）。ぜんぶで何なんこきこえたかな？

きこえないことばがあっても だいじょうぶ。きこえたカードをつかまえられたら大成功だいせいこう！

ルール

- ①1回目は タッチしないで きくだけ（お話の全体ぜんたいをあじわう） ②タッチは2人同時りどうじでもOK ③ぜんぶきき取れなくても気にしない

☆レベルアップ！ レベル2は「ちょっとへんな一にち日」——先生のお話はなしに、じゅんばんのおかしいところしよが1か所あるよ（夜に顔をあらって朝おきた!?）。見つけたら Stop! と言おう。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・「先生の一にち日」の話は、日課表現8つ+既習のことば（I like coffee. など）で1分にまとめる。本当の生活の話にすると子どもの食いつきが違う
- ・1回目は聞くだけ・2回目でもタッチ、の2段階が「まとまった話」の聞かせ方の型（1回目からタッチさせると、音探しだけになって話を楽しめない）
- ・レベル2の「順番まちがい探し」は、日課の順序感覚を裏側から確かめる仕掛け。Stop! の声が上がったら大成功